

平成29年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：初期環境調査
 調査媒体：水質(ng/L)
 地方公共団体：東京都
 調査地点：荒川河口（江東区）

調査対象物質	測定値(評価値)	報告時	検出下限値
	検体1	検出下限値	
[1] 2,3-エポキシ-1-プロパノール	nd	31	31
[2] グルタルアルデヒド	nd	50	60
[3] 酢酸2-メトキシエチル（別名：エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート）	nd	250	1,400
[4] 2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン	nd	4.2	22
[5] <i>N,N</i> -ジシクロヘキシルアミン	nd	3.1	17
[6] 2,4-ジニトロアニリン	nd	4.7	150
[7] ジメチルジスルフィド（別名：ジメチルジスルファン）	※2.1	0.66	3.4
[8-1] 1-ナフトール（別名： α -ナフトール）	nd	2.4	2.6
[8-2] 2-ナフトール（別名： β -ナフトール）	nd	2.3	2.3
[9] 1-ニトロピレン	nd	0.15	0.18
[10] 2-ビニルピリジン	nd	5.5	6.1
[11] 4-ビニル-1-シクロヘキセン	nd	11	47
[12] ピリジン	43	11	19
[14] 3-メチルピリジン	13	4.3	12

(注1) nd：不検出

(注2)：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）